



Nine Eagles®

J6 & J5

Nine Eagles 6ch J6 & J5送信機

日本語取扱説明書

Hitec Multiplex Japan 2012



お買い上げありがとうございます。安全の為に使用前に必ず当説明書を最後まで読みになり、操作を理解してからお楽しみください。

送信機概要

1. J 5 & J 6の特徴

- ・メタルベアリング採用の高級機並みのスティックユニットを新開発。スムーズなフィーリングの操作感。
- ・2.4GHz、DSSS-FHSSのハイブリッドの新電波形式採用。
- ・視認性の良いバックライト付きLCD装備。
- ・スワッシュCCPM対応。
- ・3DフライトモードSWを装備（J6のみ）
- ・ヘリ、アクロのモデルタイプ切り替え装備。
- ・金属製のキャリングハンドル装備。
- ・スティックヘッドはアルミ切削のノンスリップヘッドを採用、長さ調整も可能です。
- ・スティックテンション調整可能。（内部）
- ・送信機の両サイドにスリップ防止のラバーグリップ装備。
- ・安全の為にSWセーフティウォーニング装備。（J6のみ）
- ・ワンタッチスティックモード切替。

2 : J 5 ・ J 6仕様

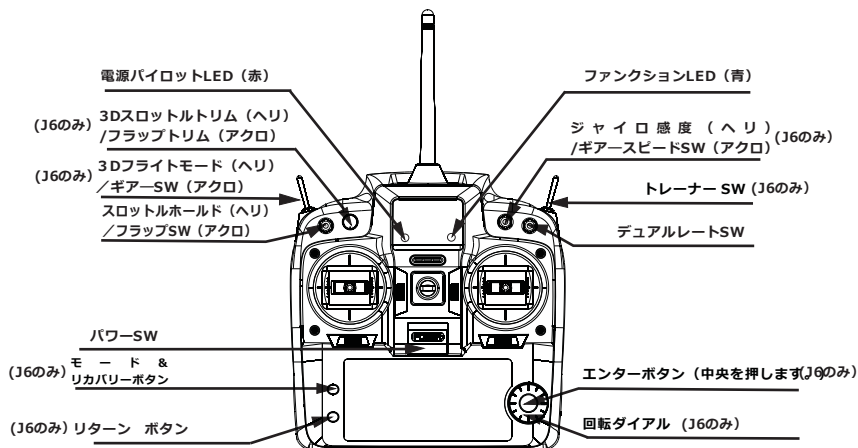
- ・送信周波数帯：2.4GHz
- ・電波方式：DSSS-FHSSハイブリッド方式
- ・操作CH：6CH
- ・使用電源：UM3×8本
- ・動作電圧：8.5V～13V
- ・消費電流：約200～250mA
- ・使用電池：単三乾電池（アルカリ推奨）×8本（別売）
- ・動作電圧：8.5-13V

3：初期設定値について

- ・当送信機はメモリ機能がありませんので、各機体ごとに合わせ、その都度数値を変える必要があります。各機体の参考初期設定値は機体日本語取扱説明書に記載してありますが、確実を期すために必ず各設定値をお控え頂けますようお願い致します。

送信機各部名称

ご注意：アンテナの先端方向は電波が弱いので機体にアンテナを横に向けるようにしてください。また、突然モーターが回転するのを防ぐ為に必ずスロットルスティックは最スローで電源を入れてください。



J6 LCD操作キー説明

- ・ 回転ダイヤル：数値設定やメニュー切り替え、CHの切り替えに使用します。
- ・ エンターボタン（中央を押します。）：設定値の決定や次設定ステップに進みます。
- ・ モード&リカバリーボタン：メニューの設定に入る時や設定値を初期値に戻します。
- ・ リターン&EXITボタン

※モードボタンを長押しするとセットアップモードに入ります。

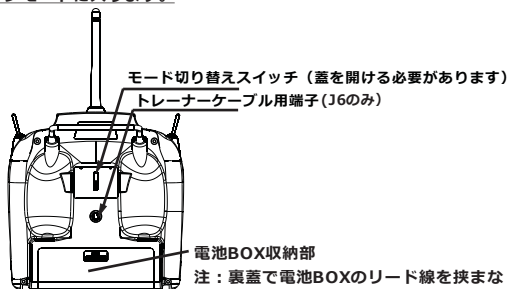
※モードボタンとリターンボタンを同時に長押しするとアドバンスセットアップモードに入ります。

J5 LCD操作キー説明

- ・ メニューボタン：メニュー切り替え。（エルロントリムを使用します）
- ・ エンター&EXITボタン（ラダートリムを使用します）
- ・ 数値設定ボタン（スロットルトリムを使用します）
- ・ 初期設定リカバリーボタン（エレベータートリムを使用します）

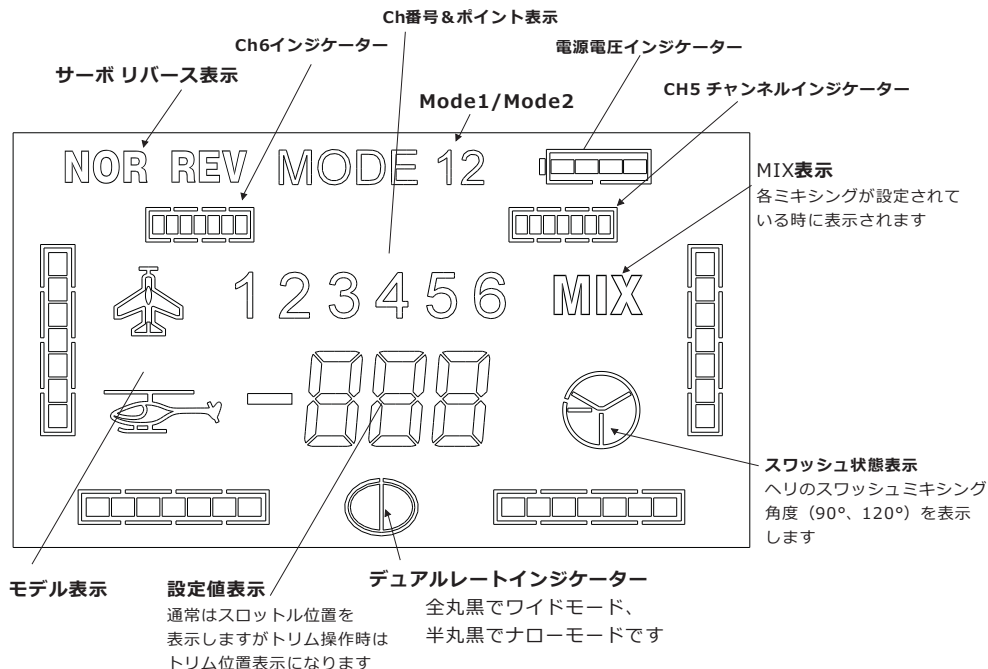
※エレベーターとスロットルトリムを両方共に操作しながら電源SWを入れるとセットアップモードに入ります。

※エルロントリムを左、ラダートリムを右、スロットル&エレベータートリムを下に4か所同時操作しながら電源SWを入れるとアドバンスセットアップモードに入ります。



注：裏蓋で電池BOXのリード線を挟まない様に注意してください

LCD 画面説明



受信機のバインド (Bind)

・送信機は1台1台異なったIDを持ちます。これを受信機に登録して動作できるようにする作業をバインドと呼びます。RTF製品は既に工場でバインドを完了済みです。

・J5送信機はエルロントリムを左に操作しながら電源SWをONにします。

・J6送信機はトレーナーSWを手前に操作しながら電源SWをONにします。

するとLCDに「S-H」表示が出ますので受信機（機体側）の電源をONにしてください。

バインドが完了するとLCDは通常表示になりますので送受信機の電源を再ONしてください。

・飛行機RTFセットで受信機単独品の場合はBコネクタにバインドプラグを挿入して受信機電源をONにします。バインド完了後はバインドプラグを抜いてください。

注：バインド作業は無線LANや他の2.4G電波の影響の無い場所で行ってください。

注：バインド時は送信機と受信機は1m以内に置いてください。

セーフティウォーニング機能 (J6のみ)

J6は電源SWをONにした時に3DフライトモードSWとスロットルホールドSWがONの場合、危険防止の為にアラームが鳴りLCDに表示が出ますので各SWをOFF（奥側）にしてください。

■CH配置表

送信機の各CHの配置です。受信機の各CHに対応した舵のサーボを接続します。
※RTFセットでは既に工場で接続済みです。

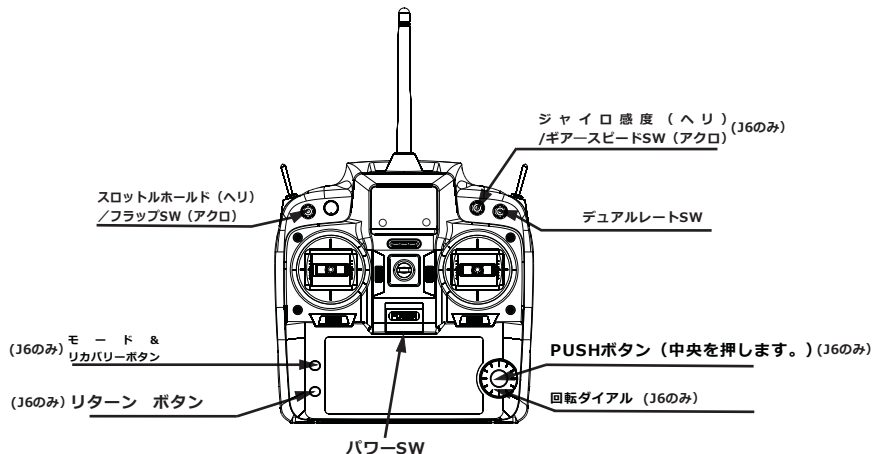
■J5送信機

CH 番号	ヘリコプターモード	アクロモード
CH1	エルロン	エルロン(フラップロン)
CH2	エレベーター	エレベーター
CH3	モータースピードコントローラー	モータースピードコントローラー
CH4	ラダー	ラダー
CH5	ジャイロ感度	未使用
CH6	ピッチ	フラップロン2

■J6送信機

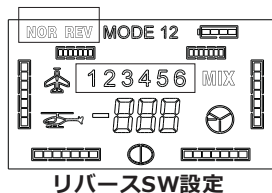
CH 番号	ヘリコプターモード	アクロモード
CH1	エルロン	エルロン(フラップロン、エレボン)
CH2	エレベーター	エレベーター(エレボン、Vテール)
CH3	モータースピードコントローラー	モータースピードコントローラー
CH4	ラダー	ラダー(Vテール)
CH5	ジャイロ感度	引込脚(ギア)
CH6	ピッチ	フラップ(フラップロン)

■ 設定モード操作方法 (セッアップモード)

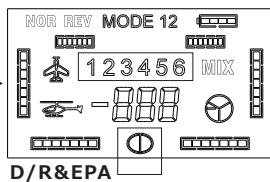


1.電源を入れ、「MODE」ボタンを長押しします

2.ダイヤルを回すと下記のように画面が遷移し、各設定が出来ます (□枠内が点滅します)



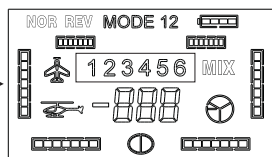
リバースSW設定



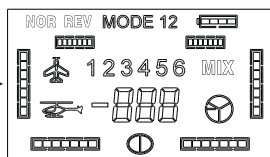
D/R&EPA (左右別、舵角調整) 調整



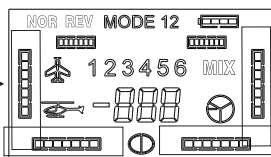
ミキシング設定



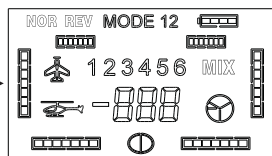
EXPO (カーブ調整等)



ジャイロ感度調整
([G-S]と点滅)



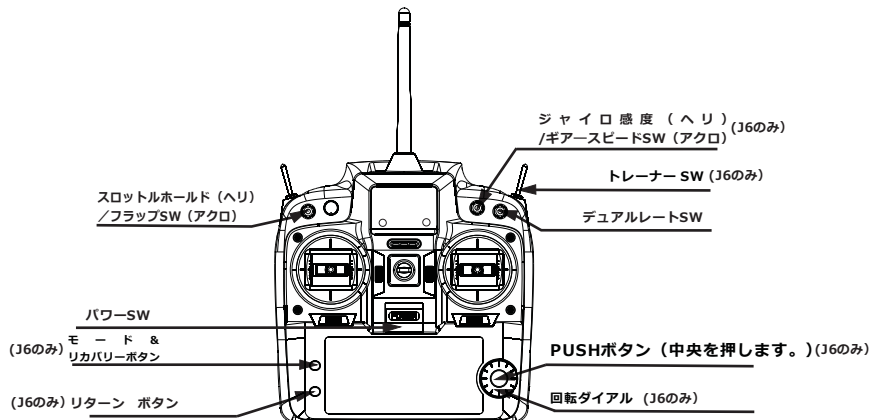
サブトリム調整



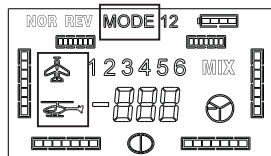
Holdモード設定
([r-H]と点滅)

※P.8より解説があります。

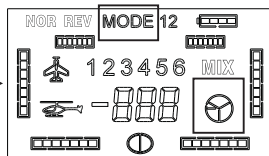
■ アドバンス設定モード操作方法 (J6)



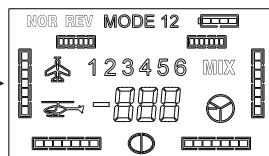
- 1.電源を入れ、「MODE」および「END」を同時に長押しします
- 2.ダイヤルを回すと下記のように画面が遷移し、各設定が出来ます (□枠内が点滅します)



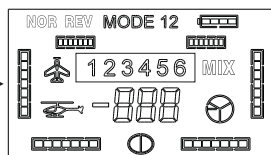
機体設定



CCPM設定



距離テストモード
[P-H]点滅



使用しません
[C-P]点滅

J5 LCD操作キー説明

- ・メニューボタン：メニュー切り替え。(エルロントリムを使用します)
- ・エンター&EXITボタン (ラダートリムを使用します)
- ・数値設定ボタン (スロットルトリムを使用します)
- ・初期設定リカバリーボタン (エレベータートリムを使用します)
- ※エレベーターとスロットルトリムを両方共下に操作しながら電源SWを入れるとセットアップモードに入ります。
- ※エルロントリムを左、ラダートリムを右、スロットル&エレベータートリムを下に4か所同時操作しながら電源SWを入れるとアドバンスセットアップモードに入ります。

■各機能説明 ヘリモード、アクロモード共通機能

■リバースSW (J5、6)

各CHのサーボ回転方向を選択します。

- 1：最初にセットアップモードに入れます。
- 2：リバースメニューを選択します。(J5はメニューボタン、J6はダイヤル操作)
- 3：LCDの「NOR REV」と「1 2 3 4 5 6」部分だけが点滅する状態がこのメニューです。
- 4：J5はエンターボタンを希望するCH番号のみ表示されるまで数回右に押します。

次に数値設定ボタンで回転方向を選択します。

J6はダイヤルとPUSHボタンで希望するCH番号だけの表示にします。

次にダイヤルで回転方向(NORかREV)を選択します。

- 5：J5はエンターボタンを左に二回押すと画面は1：に戻り確定されます。

J6はENDボタンを二回押すと画面は1：に戻り確定されます。

■D/R (デュアルレート) & EPA (左右別、舵角調整) 調整 (J5、6)

機能説明：CH1、2、4のサーボ動作角度をスティックの左右、上下別に設定できます。

これはD/R SWのワイド、ナローの両方で独立して設定可能です。

設定方法：

- 1：最初にセットアップモードに入れます。
- 2：デュアルレートメニューを選択します。(J5はメニューボタン、J6はダイヤル操作)
- 3：LCDの「D/R表示」と「1 2 3 4 5 6」部分だけが点滅する状態がこのメニューです。
- 4：J5はエンターボタンを右に押した後にメニューボタンで希望するCH番号を表示させます。
次にエンターボタンを右に押してLCD中央の設定値を点滅させます。
J6はダイヤルで希望するCH番号を表示させた後にエンターボタンでLCD中央の設定値を点滅させます。
そしてスティックを其々の方向に操作して各方向の舵角をJ5は数値設定ボタン、J6はダイヤルで設定します。
この時D/R SWを操作した側でも独立して設定できます。
- 5：J5はエンターボタンを左に二回押すと画面は1：に戻り確定されます。
J6はENDボタンを二回押すと画面は1：に戻り確定されます。

■EXPO（カーブ調整）（J6のみ）

機能説明：

CH1． 2． 3． 4のスティック操作に対するサーボの動作カーブを調整する機能です。スティックのニュートラル付近の操作をマイルド～リニア～クイックな動作に調整できます。尚、CH3のスロットルについてはスティック操作範囲を5ポイントに分割した自由なカーブを設定できます、これは次項で説明します。

設定方法：

- 1：最初にセットアップモードに入れます。
- 2：ダイヤル操作でEXPOメニューを選択します。
- 3：LCDの「1 2 3 4 5 6」部分だけが点滅する状態がこのメニューです。
- 4：エンターボタンを押した後にダイヤルで希望するCH番号を表示させます。再度PUSHボタンを押すとLCD中央の設定値が点滅します。希望するカーブにダイヤルで数値設定を行ってください設定範囲は「- 8 0 E～0 0 E～8 0 E」です。-側がマイルドカーブ、0 0がリニア動作、+側がクイックカーブとなります。
- 5：ENDボタンを二回押すと画面は1：に戻り確定されます。

ヒント！：実際にサーボを動作させてカーブ変化を確認すると良いでしょう。

■サブトリム（J6のみ）

トリムが中立位置でのサーボのニュートラル位置の微調整トリムです。ニュートラル時にリンケージロッドとサーボホーンが直角になるように調整します。CH1． 2． 4で使用できます。

設定方法：

- 1：最初にセットアップモードに入れます。
- 2：ダイヤル操作でサブトリムメニューを選択します。
- 3：LCD端の「トリム&CHインジケータ」が三か所点滅する状態がこのメニューです。
- 4：ダイヤルでインジケータを点滅させてCHを選択します。
エンターボタンを押すと設定数値表示も点滅し、ダイヤルにて数値設定が可能になります。
- 5：ENDボタンを三回押すと画面は1：に戻り確定されます。

ヒント！：出来るだけリンケージロッドでの長さ調整を優先して行い、この機能に大きく頼らないでください。

■ 5Pピッチ&スロットルカーブ (J6のみ)

機能説明：

ヘリモードではCH3 スロットルとCH6 ピッチサーボの動作カーブをスティック操作を5ポイントに分けて設定できます。ホバリング付近のスロットル調整やローターピッチ角度調整、また最大やマイナスピッチ等の調整ができます。ヘリ機体説明書にある推奨カーブグラフを参考に設定してください。アクロモードではCH3 スロットルカーブのみ使用できます。

設定方法：

- 1：最初にセットアップモードに入れます。
- 2：ダイヤル操作でEXPOメニューを選択します。
- 3：LCDの「1 2 3 4 5 6」部分だけが点滅する状態がこのメニューです。
- 4：PUSHボタンを押した後にダイヤルで**CH Noを「3」スロットルか「6」ピッチを選択します。**

再びPUSHボタンを押すと「1 2 3 4 5」部の番号が1つ表示されます。

これはスティック操作範囲の5か所の調整ポイントを意味します。1がスローエンド、3が中立位置、5がフルハイエンドです。ダイヤルで調整ポイントを選択してPUSHボタンで数値設定表示が点滅して数値変更が可能になります。

- 5：ENDボタンを二回押すと画面は1：に戻り確定されます。

ヒント！：実際にサーボを動作させてカーブ変化を確認すると良いでしょう。

■ 飛行機&ヘリ モデルタイプ切替 (J5、6)

機能説明：

送信機をヘリコプター用かアクロ（飛行機）用に切り替える機能です。

J5設定方法：

- 1：最初に「**アドバンスセットアップ**」(P.7参照)モードに入れます。
- 2：メニューボタン右押しでモデル切り替えメニューを選択します。
- 3：LCDで「MODE」とモデル表示（機体アイコン）が点滅する状態がこのメニューです。
- 4：エンターボタン左押しで機体アイコンのみを点滅させます。
- 5：数値設定ボタンで機体の種類を切り替えます。
- 6：エンターボタン左押し二回で1：に戻り確定されます。

J6設定方法：

- 1：最初に「**アドバンスセットアップ**」(P.7参照)に入れます。
- 2：ダイヤルでモデルタイプメニューを選択します。
- 3：LCDで「MODE」とモデル表示（機体アイコン）が点滅する状態がこのメニューです。
- 4：PUSHボタンで機体アイコンのみを点滅させます。
- 5：ダイヤルで機体の種類を切り替えます。
- 6：ENDボタン二回押しで1：に戻り確定されます。

ヘリモード専用機能

■ 3DフライトモードSW (J6、ヘリモード)

機能説明：

SW (B) の3DフライトモードSWをON (手前) にすると背面飛行に適したスロットルカーブになります。スティックが中立位置でスロットルがスローになり、上下でスロットルはハイ側になります。この時のスロー側トリムはVR (A) の3Dスロットルトリムでも行えますので飛行中に調整可能です。このSWを使用する機体はスティックハイ側で+ピッチ、中立位置でピッチゼロ、スティックスロー側で-ピッチなるように調整してください。

注意：通常飛行時に無意識にスティック下げるとモーターはハイ側になりますのでご注意ください。

■ ジャイロ感度調整 (J5、6ヘリモード)

機能説明：ジャイロ感度SWでの設定を行います。SWでの2ポイント感度を設定できます。

設定方法：

- 1：最初にセットアップモードに入れます。
- 2：J5はメニューボタン右押しで、J6はダイヤル操作でジャイロメニューを選択します。
- 3：LCD中央に「G-S」が点滅する状態がこのメニューです。
- 4：J5はエンターボタン右押しで、J6はエンターボタンで「G-S」が設定数値表示に切り替わります。ジャイロ感度切り替えSWを操作して二か所の数値をJ5は数値設定ボタンで、J6はダイヤルで設定します。
- 5：J6はエンターボタンの後にリターンボタン、J5はEXITボタン左側を二回押すと画面は1：に戻り確定されます。

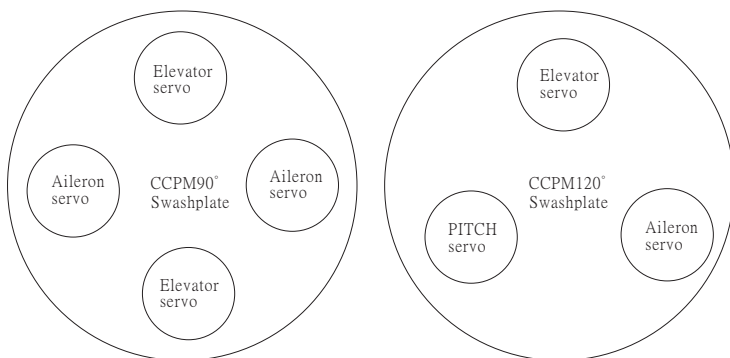
■CCPM・ミキシング（J5、6ヘリモード）

機能説明：

スワッシュプレート的方式を設定します。図のようにCCPM90°と120°を選択できます。RTFモデル付属J6送信機は工場出荷時に設定されている値が初期値となります。例えば、SoloPro180 3DやSoloMaxx3Dでは「90°」となります。

重要な注意！

CCPMの値を変更する際は機体取扱説明書に従って正しく設定してください。この値を間違えると正しくフライトできません。



J6設定方法：

- 1：最初にアドバンスセットアップモードに入れます。
- 2：ダイヤル操作でCCPMミキシングメニューを選択します。
- 3：LCDの「MODE」と円形のスワッシュ表示マークが点滅する状態がこのメニューです。
- 4：エンターボタンでスワッシュ表示マークだけを点滅させます。次にダイヤルで90°か120°をマークを確認して選択してください。
- 5：リターンボタンを二回押すと画面は1：に戻り確定されます。

J5設定方法：

- 1：最初にセットアップモードに入れます。
- 2：メニューボタン右押しでCCPMミキシングメニューを選択します。
- 3：LCDの「MODE」と円形のスワッシュ表示マークが点滅する状態がこのメニューです。
- 4：エンターボタン右操作でスワッシュ表示マークだけを点滅させます。次に数値設定ボタンで90°か120°マークを確認して選択してください。
- 5：エンターボタン左操作を二回で画面は1：に戻り確定されます。

■スロットルホールド (J6 ヘリモード)

機能説明：

オートローテーション着陸の為にスロットルをスティック操作に関係なく固定する機能です。
SW(A)スロットルホールドSWを手前に倒すとスロットルが設定した位置に固定されます。
そしてスティックでの操作はピッチのみとなります。

設定方法：

- 1：最初にセットアップモードに入れます。
- 2：ダイヤル操作でスロットルホールドメニューを選択します。
- 3：LCD中央に「r H」が点滅する状態がこのメニューです。
- 4：PUSHボタンを押した後にLCD中央に数値が表示されますのでダイヤルにてホールドされるスロットル位置を設定します。
- 5：ENDボタンを二回押すと画面は1：に戻り確定されます。

■レヴォリューション・ミキシング (J6 ヘリモード)

機能説明：

可変ピッチ式のヘリに使用するテールミキシングでピッチCHからラダーCHへミキシングします。
ホバリングを起点としてスティックの上下操作で別々にミキシング量を設定できます。

注意：ジャイロがヘッドロック（テールロック）タイプをご使用の場合、この機能は不要です。
J6が付属しているNineEagles製RTFヘリセットのジャイロはヘッドロックタイプなのでこの機能を使用しないでください。飛行ができなくなります。

設定方法：

- 1：最初にセットアップモードに入れます。
- 2：ダイヤル操作でレヴォリューション・ミキシングメニューを選択します。
- 3：LCDで「1 2 3 4 5 6」と「M IX」が点滅する状態がこのメニューです。
- 4：PUSHボタンを押すと「M IX」だけが点滅します、この状態でミキシングのON-OFFを行います。ダイヤルを回して「1 2 3 4 5 6」表示部の「1」だけ表示された状態がミキシングONです。この部分の表示が無い状態がミキシングOFFとなります。
- 5：「1」と「M IX」が点滅した状態でエンターを押すと数値は「3、4」の表示に進みます。
3の点滅はこのミキシング、4の点滅は他のミキシングを表します（未使用です）。
- 6：「3」が点滅時にPUSHを押すと設定数値表示が点滅して設定可能になりますのでダイヤルでミキシング量を設定します。このミキシングはスティックの中立付近を境に上下方向で別々のミキシング量を設定できます。数値をマイナス側になるとミキシング方向が逆になります。
- 7：ENDボタンを三回押すと画面は1：に戻り確定されます。

アクロモード専用機能

■ウイングタイプ切替 (J6 アクロモード)

機能説明：

ウイングタイプの切り替えを設定します。エレボン、Vテール、フラップロンの3種類から一つ選ぶ事ができます。

設定方法：

- 1：最初にセットアップモードに入ります。
- 2：ダイヤル操作でウイングタイプメニューを選択します。
- 3：LCDで「1 2 3 4 5 6」と「M IX」が点滅する状態がこのメニューです。
- 4：PUSHボタンで「M IX」だけ点滅してタイプ選択画面になります。

ダイヤルを回すと「1 2 3 4 5 6」部分は下記の4種類の表示に切り替わります。
これはウイングタイプ種類を表します。

「 」：何も表示されません、ウイングタイプは通常状態です。

「1」：エレボンです。エルロン+エレベーターのミキシングです、無尾翼機に使用します。

「2」：Vテールです。ラダー+エレベーターのミキシングです、V尾翼機に使用します。

「3」：フラップロンです。エルロン+フラップのミキシングです。フラップを装備していない機体でフラップやエアブレーキを使用できます。

- 5：タイプを選択した後にPUSHボタンを押すと、そのミキシング量の設定画面に進みます。
「1 2 3 4 5 6」部分にミキシングで使用するCH番号だけが表示されます。

- 6：続いてPUSHを押すと各CH番号をダイヤルで個別に点滅状態にできるようになります。
さらにPUSHを押すと設定数値表示部も点滅して各スティック等の左右、上下操作別にダイヤルで設定できる状態になります。

- 7：ENDボタンを三回押すと画面は1：に戻り設定は確定されます。

ヒント！：

フラップロンの場合、SW (A) のSWでフラップ（エアブレーキ）が操作できます。
SW操作の奥側はニュートラルで固定ですがSW操作手前の位置はVR (A) のツマミで自由に調整できます。ツマミの左右方向の動作量も上記 6項で個別に調整できます。

■フラップポジション (J5、6 アクロモード)

機能説明：

フラップSW操作でのサーボ動作量の設定機能です。

J5設定方法：

- 1：最初にセットアップモードに入ります。
- 2：メニューボタン右押しでフラップポジションメニューを選択します。
- 3：LCDで中央に「F-P」が点滅する状態がこのメニューです。
- 4：エンターボタン右押しで「F-P」が設定数値表示の点滅になります。
- 5：フラップSWを設定したい方向に倒し、数値設定ボタンでサーボ位置を設定します。
SWの両方のポジションで設定が可能です。
- 6：エンターボタン左押し二回で1：に戻り確定されます。

J6設定方法：

送信機左上のフラップSWとVR (A) フラップツマミで操作できます。

■CH5 ギアサーボスピード (J6 アクロモード)

機能説明：

CH5のギア（引込脚）サーボは送信機左上のギアSWで操作します。この時のサーボの動作速度を任意に調整できる機能です。このサーボ速度はギアスピードSWで二種類の速度を切り替え可能です。

設定方法：

- 1：最初にセットアップモードに入ります。
- 2：ダイヤルでギアサーボスピードメニューを選択します。
- 3：LCDで中央に「G-S」が点滅する状態がこのメニューです。
- 4：エンターボタンで「G-S」が設定数値表示の点滅になります。
- 5：ギアスピードSWを設定したい方向に倒し、ダイヤルでそれぞれの速度数値に設定します。SWの両方のポジションで速度設定が可能です。
- 6：リターンボタン左押し二回で1：に戻り確定されます。

■ パワーセーブ機能 (J5、6)

機能説明：

送信機は約30秒間、ボタン等の操作が無いとLCDのバックライトが消灯します。そして約5分間何も操作が無いと送信機はアラームを鳴らして休止状態に入ります。何か操作をすれば休止状態は復帰します。

■ 距離テストモード (J6)

機能説明：

飛行前の距離テスト用に送信機の出力をローパワーに切り替える機能です。安全の為に必ず距離テストを行ってください。ローパワーの状態では約30m離れて正常に操作できればOKです。但しローパワー状態で絶対に飛行させないでください。

設定方法：

- 1：最初にアドバンスセットアップモードに入れます。
- 2：ダイヤル操作で距離テストメニューを選択します。
- 3：LCD中央に「P-H」が点滅する状態がこのメニューです。
- 4：エンターボタンを押して「H」部分をダイヤルで「L」に切り替えると出力がローパワー状態となります。この時、青LEDは点滅してアラームが鳴り続けます。
- 5：送信機の電源SWを再ONすると出力は自動的にハイパワーに戻ります。

■ マスターリセット (J5、6)

機能説明：

送信機の各設定を初期値に全て戻す機能です。

注意：各設定を記録する前に不用意に実行しないでください。

必ず各設定を記録してから必要な場合のみ実行してください。

設定方法：

J5はエルロントリム左、ラダートリム右、エレベータートリム下を同時に操作しながら電源SWをONにします。

J6はエンター、モード、リターンの三か所のボタンを押したまま電源SWをONにします。

※以下の機能は使用しないようにお願いいたします

■ワイヤレスコピー機能 (J6)

機能説明：アドバンスセットアップメニューで設定数値表示部に「C P」と表示されるメニューです。
ワイヤレスで他のJ6送信機にデータのコピーする機能ですが2011年7月現在使用できません。

■通信モード切り替え (J5、6)

機能説明：受信機へ送信する信号のプロトコル（方式）を切り替える機能です。
2011年7月現在、使用しません。

注意：不用意に設定変更しますと機体側が反応しなくなります。

サポート依頼について

当送信機の修理規定は機体の日本語取扱説明書に記載されている内容となります。詳しくは機体の日本語取扱説明書をご参照ください。

◆重要なお願い◆

・修理品をご送付頂く際、必ず購入時のパッケージに入れて当説明書を同封下さい。当社販売品であるかを確認させていただきます。正規品以外（並行輸入品・他社取扱製品）はサポートを行いませんので、予めご了承下さい。

・部品交換で修理可能な場合は、部品代＋作業工賃＋送料がご請求金額となります。但し、ご請求金額が新品交換保証額を上回る場合は、無条件で新品交換保証を適用させていただきます。

◎輸入販売元

お問い合わせ・修理品送付先

〒133-0057 東京都江戸川区西小岩1-30-10 1F
株式会社ハイテック マルチプレックス ジャパン
Nine Eagles専用ダイヤル：03-6458-0191

受付時間：月～金曜日（祝日・夏期休暇・年末年始を除く）
10:30～12:30, 13:30～16:30
Web Site：www.hitecrd.co.jp

Memo:

Memo:



◎輸入販売元
お問い合わせ・修理品送付先

〒133-0057 東京都江戸川区西小岩1-30-10 1F
株式会社ハイテック マルチプレックス ジャパン
Nine Eagles専用ダイヤル：03-6458-0191
受付時間：月～金曜日（祝日・夏期休暇・年末年始を除く）
10:30～12:30, 13:30～16:30
Web Site：www.hitecrd.co.jp